

尼崎市子ども支援おなかまプロジェクト

第三回 参加者 募集

公民合同研修会

立場の垣根を越えて
子どものために
「同じ釜の飯を食う」
お仲間になりませんか

研修
概要

2025年
10月15日

水

13:00～15:00

@あまがさき・ひと咲きプラザ内 / オンライン

テーマ（仮）：

子どもを真ん中に、“つながり”で支える支援へ

日本とフランスの制度や文化の違いを手がかりに、子ども・家庭を支える“つながり”の支援を再考します。民間と行政が地域の資源を活かして連携するフランスの実践をもとに、「見落とされがちな課題にどう応えるか」「支援のモデル・事例を、どう制度につなぐか」を学び、尼崎での実践に活かせる視点と問いを、みなさんで一緒に考えます。

民間から始まる支援 を制度へと育てる

民間団体での実践がどのように制度として根づくのか、フランスの事例を通して学びます。

多機関の連携で 支援を届け切る

日常の接点を活かした連携の工夫や、担当者が最後まで関わり続ける文化から得られる示唆を考えます。

“つなぎ役”がいる 地域のデザイン

地域を歩き、人と資源をつなぐコーディネーターの事例から、尼崎市での地域づくりのヒントを学びます。

ゲスト
講師

安發 明子 氏

※オンラインご登壇



フランス子ども家庭福祉研究者。

ソーシャルワーカー養成校AFRISパリ理事。

鹿児島生まれ。一橋大学社会学部卒。首都圏で生活保護ワーカーとして働いた後、2011年に渡仏。

フランス国立社会科学高等研究院健康社会政策学修士、社会学修士。立命館大学人間科学博士。

すべての子どもが幸せに育つことができる社会を目指し活動している。

『一人ひとりに届ける福祉が支える フランスの子どもの育ちと家族』かもがわ出版

『ターラの夢見た家族生活 親子をまるごと支えるフランスの在宅教育支援』パボ著 サウザンブックス

akikoawa.com



尼崎市子ども支援 おなかまプロジェクトとは…

尼崎市内で子ども支援に取り組む大人たちが、

「困難を抱えた子どもたちに切れ目のない支援を行き届ける」ことを目指して

行政と民間の垣根を超えてつながり、学び合い、

「子どもに必要な支援、大人同士のより良い連携のあり方」

を実践するプロジェクトです。

2024年度から尼崎市協働事業として実施しています。

▶2025年度スケジュール（計5回の公民合同研修会を実施します）

実施時期	内容 ※今後の予定については変更の可能性がございます
6/25(水) 10:00-12:00	【連携の土台・きっかけづくり】 参加者同士による自己紹介・お仕事紹介（参加者：45名）
8/20(水) 13:00-15:00	【子ども支援の共通知識・ケース検討ワーク】 テーマ別講義・事例をもとにしたケース検討ワーク（参加者：38名） ／ゲスト：尼崎市SSW 大台 氏
10/15(水) 13:00-15:00	【制度や立場を超えたつながりで支える子ども支援】 「子どもを真ん中に、“つながり”で支える支援へ」講演・尼崎市での 実践検討ワーク／ゲスト：フランス子ども家庭福祉研究者 安發 氏
12月	【子どもを支える尼崎市における地域構造の再設計】 ゲスト：※調整中
2月	【資源マップ報告会・今後の連携に向けた検討ワーク】

対象

尼崎市内で子ども支援に取り組む民間団体職員、尼崎市の行政職員

※対面参加希望者多数の場合は、1組織あたりの参加人数の上限を設ける可能性がございます。

個人ではなく、組織単位でお申込み・ご参加ください

参加費

無料 ※交通費等の会場までの移動にかかる実費、通信費は各自負担ください

申込方法

▶民間団体職員の方：専用フォームより必要事項をご記入のうえお申し込みください

▶行政職員の方：下記、必要事項をご記入のうえ、メールにてご連絡ください

※事前申込み切：～2025/9/30(火)中



①メールアドレス②氏名（ふりがな）③所属④役職/担当業務⑤電話番号⑥当日の参加方法（対面参加 / オンライン参加）

送付先：尼崎市 こども相談支援課：✉ ama-kodomonosodachi@city.amagasaki.hyogo.jp

主催：尼崎市 こども相談支援課、認定特定非営利活動法人 Learning for All

問い合わせ先：✉ lfa_onakama@learningforall.or.jp